

聖マリアンナ医科大学(後期) 英語

2024年 3月5日実施

[I]

[1] (1) (c) (2) (d) (3) (a) (4) (b) (5) (a)

[2] 天気予報がどの程度の(経済的)価値を持ちうるか、特に天気予報の重要局面である暑さや寒さがどの程度の価値を持つかを示そうとした。

[3] (a) ①どのような時に天気予報が外れると人の死に影響を与えるかを見極めることは困難であること、特に、予報が外れた一部の日には死亡数が多かったり、別の日には少なかったりすると、統計的に有意な結果が示せないこと。②天気予報の正確性が向上したのはここ数十年間のことであるが、現在もまだある予報の外れが相当の影響を与えているかについては不明であったこと。

(b) 実際の気温、予報による翌日の気温、死亡数に関するデータを集めた上で、同じ気温の日について、それ以前の予報が正確だった日、外れた日の死亡数と比較した。

[4] (c)

[5] (b)

<講評>

天気予報の正確性向上による恩恵について述べた英文。例年通り、本文中で取り上げられた研究の手続きや結果について論述する問いが出題されたが、前期に比べると記述量は軽めであった。

<解説>

[1] (a) たくさんの驚くべき技術を「備えている」より、**be equipped with** が適切。

(b) **make progress** で「進歩を遂げる」、主語は **weather experts** であるから、受け身にする必要はなく、能動態の現在完了形 **have been making** が適切。

(c) 豪雨については、1990年代中盤時点での当日予報と、現在の当日翌日の予報とが「同等の」精度だということで **as good as** が適切。

(d) **take A for granted** で「Aを当然の事と思う」。天気予報は、我々が「当然の事と考えている」多くの事柄の一つ、という文脈。

(e) **help O do** 「Oが～するのを手助けする」であり、原形不定詞 **do** は準動詞であるから、後ろに目的語を取れる動詞であれば、目的語を続けてよい。したがって、**plan their projects** が適する。**build a planning** はコロケーション的に不適切(「計画を立てる」なら単に **build a plan** でよい)。

[2] 第3段落第1文で、経済学者のグループが関心を抱いた事柄が **how valuable they (=weather forecasts) can be** であると述べられており、同段落最終文で具体的に行った研究として、**the value of one important aspect of predicting the weather: how hot or cold it's going to be** と述べられているので、この部分をまとめる。

[3] (a) 第4段落の下線部に続いて、**it is not easy to tell when~. If on some days~**と述べられており、統計的な困難さが述べられている。また、**Moreover** で始まる文で、天気予報が正確になった現在でも、天気予報が外れると **considerable effects** があるのかは

っきりしなかったと述べられている。これらの2つの内容をまとめればよい。

(b) 研究方法については、第5段落で説明されている。「実際の気温、翌日の気温の予報、死亡数」に関するデータを収集し、「同じ気温の日について、それ以前の予報が当たった日、外れた日の死亡数を比較した」と述べられている。

- [4] 予報よりも気温が高くなる形で予報が外れた日の方が死亡数に悪影響があったという文脈から、(a)には **bad** が入る。したがって、こうした予報の精度を「向上させる」ことで、この悪影響を減らすことができるという文脈から、(i)には **better** が入る。
- [5] Lemoine 氏の最後の発言に「気候変動に適応するための重要な局面の一つとして、天気予報の精度を上げることがある」とあり、これは逆に言えば、(b)「気候変動が起こっているので、より精度の高い天気予報が求められている」ということになる。

[II]

- [1] (c) [2] (d) [3] (b) [4] (c)
 [5] (b) [6] (d) [7] (B) [8] (c), (e)

<講評>

砂糖の依存性について述べた英文。形式はいずれも選択式。

<解説>

- [1] 空所直前に **foods that aren't obviously sweet** 「明らかに甘くはない食べ物」とあるため、その具体例が空所に来ると考えればよい。
- [2] 副詞 **back** を伴うことから「戻ってくる」ニュアンスを汲み取る。そもそも、(a)~(c)はいずれも他動詞である時点で **to** 句を続ける語としては不適である。
- [3] 「砂糖は単純な炭水化物であり分解されやすい」= エネルギーになりやすい、「複雑な炭水化物は分解に時間がかかる」= エネルギーになるのに時間を要する、という関係性を見抜く。
- [4] 空所直後には **which** 節が存在することから、何がその先行詞になるかということも踏まえながら選択肢を検討する。(c)の「食べ物が欠乏していた」という状況は氷河期の時代の説明として適切であるうえ、文末が **sugar** で終わっていることから、それを **which** 節「当時の人々の生存を助けた」が説明していることも整合性がとれる。
- [5] 空所直前に **due to evolutionary impulses** 「進化上の欲求のせいで」とあることから、我々人類がどのように進化してきたかということを考えると、かつては食べ物が不足していたためにより少ない糖分から効率的にエネルギーを生成する必要があったという旨の説明がこの段落でなされているので、(現代の我々も) そのように進化したままになっている、と考えればよい。
- [6] 砂糖を摂取するたびにドーパミンが放出されることが、脳の **a reward system** 「報酬系」と述べられているので、砂糖を報酬 (= 繰り返し得るべきもの) として捉えた選択肢を選べばよい。

- [7] [5]の解説とも関連するが、砂糖への欲求が進化上有利であったのは、狩猟採集生活を送っていた古来の人類であることが第3段落の内容から読み取れるため、この段落の冒頭に置けばテーマとして合致する。
- [8] (a) 「砂糖が安価である」とする記述は本文中にない。
 (b) 第2段落第2文によれば、パンや果物、野菜は **sugar crash** を起こすのとは反対の部類の食べ物である。
 (c) 第3段落第2文および第4文の内容に合致する。
 (d) 第4段落第2文の内容に矛盾する。
 (e) 第4段落第3文の内容に合致する。

[Ⅲ]

- [1] (1) (b) (2) (a) (3) (d) (4) (a)

- [2] (b)

<講評>

与えられたシチュエーションに対応する英文として正しいものを選ぶ問題。問題文に “in terms of grammar, logic and context” とある通り、文法・文脈の両面から適切なものを絞り込む必要があることに注意する。

<解説>

- [1] (1) (a) borrow は「借りる (=返すことが前提)」という意味なので、鼻をかむためのティッシュに対して用いるのは不適。
 (b) 正文。
 (c) 主語が I であるため、「自分が自分に対してティッシュを渡す」という奇妙な意味になってしまう。
 (d) take out of ~ という語法は存在しない。
- (2) (a) 正文。
 (b) clean up 「掃除」している対象は my room であって、comic books ではない。
 (c) interested は分詞であるため、他動詞 show の目的語として置くことはできない。名詞 interest であれば可。
 (d) interested ではなく interesting を用いている時点で表すべき意味から大きく外れるし、let's me know という謎の表現も不可。
- (3) (a) Now is not. は不適切な省略表現(notの後ろに補われるべきものが分からない)。
 (b) succeed toV という語法は存在しない。succeed in V-ing ならば可。
 (c) help for ~ という語法は存在しない。help は他動詞なので目的語 me を直接置けばよい。
 (d) 正文。
- (4) (a) 正文。

(b) 動詞 **come** がこのような位置にあっては非文になってしまう。**coming** であれば可。

(c) **tell O toV** は「O に V するよう言う」の意であるため、表すべき意味から大きく外れてしまう。

(d) **Have you told ~?** 「あなたは言いましたか」と尋ねている時点で、表すべき意味から大きく外れてしまう。

[2] **requirement** 「必要条件」とあるので、ここに入部するための「条件」として適切な文を選べばよい。他の選択肢はいずれも「条件」に関する記述ではない。

【総評】

記述式長文＋選択式長文＋正文選択という例年通りの大問構成。90分という試験時間に比して分量は控えめであり、じっくり腰を据えて取り組むことができたであろう。一次通過ラインは、75%程度か。

医大別直前二次試験対策講座(後期)

合格を勝ち取る！
各大学の二次試験の要点解説と面接対策

- 聖マリアンナ医科大学 (般後)
- 埼玉医科大学 (般後・共)
- 藤田医科大学 (般後・共後)
- 日本大学 (N方式2期)

◆スケジュールはHPでご確認ください。



本解答速報の内容に関するお問合せは



03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木1-37-14

医学部進学予備校 **メビオ** ☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校 **英進館メビオ** 福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録 ▶



LINE 登録 ▶

